

SSKS 療育ねっとわーく川崎

2013年11月20日発行
No.163 (2800部)
NPO法人
療育ねっとわーく川崎
発行者 江川 文誠
編集者 谷 みどり

こんなとき どうするの

高等部を卒業されるということ

は、お子さんの人生にとって大きな節目となります。この時期に、将来の生活も考えたライフプランを考えられるのは大切なことですね。

現状での生活としては、日中は生活介護等の通所施設に通われるとして、居住の場をどうしていくかだと思います。

■ケアホームで家族から独立した生活も考えられますね。

現在、川崎市内には170のグループホーム・ケアホームがあり、毎年新しいホームがつけられていきます。1カ所に4人としても、680人以上の人が、ケアホームやグループホームで生活されていることになり、施設入所の方よりも、ずっと多いこととなります。ケアホームは、食事や入浴等の介護や日常生活の支援を受けながら、地域において自立した生活を共同で行う住居です。その人の状態に応じた支援が受けられますから、障害の重い方でも入居は可能です。居宅と同じ対応なので、必要とされる方には、訪問看護や医

Q 来年3月に、高等部を卒業します。このころ、あちこちから、「自立」という言葉をよく目にします。今までは、重い障害のあるうちの子には関係ない将来のことと思って、全く考えたこともありませんでした。でも、ずっこのまま親子で暮らしていかんかと思うと、不安もありますし、全く情報も持っていません。どんな生活を考えていたらよいのでしょうか。

本誌2面にあるのは、いま検討されている厚労省の

師の往診も受けられます。また、支援員だけでは、ケアが行き届かない場合には、個別でのヘルパーの派遣も可能となっています。

社会保障審議会障害部会が出された資料です。家族からの自立に、相談支援センターが今後どのように関わったらいかがかかかると思っています。ケアホームにいきなり入るのではなく、ショートステイを経験したり、ケアホームでの体験入居を行うことで、ご本人がまず「自立」に向けて準備をしていくことが大切だと思います。その過程がとても大切で、それをプランニングしていくのが、相談支援の役割です。1ヶ月単位でのモニタリングをしながら、進めていくようになっていきます。

■ケアホームの費用はどのくらいかかるのでしょうか。

ケアホームの体験者を見てみると、生活を変えるのは、できれば20代のうちの方がよいと思います。そして、入居された方をみていると、障害の重い軽いには関係なく、「自立」は可能で、後から思えば、ご本人はこんなに精神的に大人になっていたことに驚くこともありました。

■どこにどんなホームがあるかわかりませんか。

ケアホームの体験者を見てみると、生活を変えるのは、できれば20代のうちの方がよいと思います。そして、入居された方をみていると、障害の重い軽いには関係なく、「自立」は可能で、後から思えば、ご本人はこんなに精神的に大人になっていたことに驚くこともありました。

ふれあい等に、ケアホームやグループホームの場所は載っています。が、空いているかどうかはわかりませんね。新しく作られつつあるホームの情報も、ご家族で探すことは難しいと思います。居住区の相談支援センターに聞いて探してもらおうが一番だ

ケアホームの体験者を見てみると、生活を変えるのは、できれば20代のうちの方がよいと思います。そして、入居された方をみていると、障害の重い軽いには関係なく、「自立」は可能で、後から思えば、ご本人はこんなに精神的に大人になっていたことに驚くこともありました。

今月号の目次

- こんなときどうするの.....1
- 厚生労働省「居住支援」資料.....2
- 療育ひろば.....2
- 山田町支援.....3
- サポートセンター Rond 2号館 まつりのお知らせ.....5
- 映画「普通に生きる」感想.....7

(本誌3〜6頁は会員のみ配布)

みんなの伝言板

ご感想は e-mail : kouhou @ rond. jp までどうぞ
☆編集メンバー 遠藤・佐藤・谷・七瀬・前田・和田



TAMA FESUTIVAL (多摩フェスティバル)のお知らせ

今年、新たに始まりました【多摩区商店街連合】主催のイベントです。

日時：2013年11月16日 (土) 11:00 ~ 16:00

2013年11月17日 (日) 10:00 ~ 16:00

場所：生田緑地 (入場無料)

会場では、多摩区内の各店舗がテント出店するほか、子ども広場・アート展・ストリートパフォーマンス・ストリートライブなどの催しが盛りだくさんに行われます。

更に、メインステージでは、

16日(土)【それいけ アンパンマンショー】&【御当地ヒーローショー】

17日(日)【ミュージックライブ】・・・が繰り広げられます。

【療育ねっとわーく】も、被災地応援として、テント一張りして出店します。

お馴染みの【三陸ハンドメイドのグッズ】や、【野田村の食品】をはじめ、今回スペシャル企画として、谷代表 自ら仕入に行った【山田町の水産加工品】生活介護 ROND Oメンバー手作りの【スカーフ・Tシャツ&手染め手ぬぐい】美濃口裕職員デザイン VS 佐藤伸吾職員デザイン オリジナルTシャツ対決・・・と、盛りだくさんの品揃えです。ぜひ皆様、足をお運び下さい！
(事務局長 前田龍郎)

2013 かわさき子どもの権利の日 市民企画事業フォーラム 障害のある子どもたちの地域生活支援

～かわさきの療育・教育は、いま～

日時：2013年11月23日(土) 13:00~16:30

会場：川崎市立養護学校

I部 現場からの報告

- 1、豊かな地域療育を考える連絡会 幼児・小学生部会の取り組みから (谷みどり)
- 2、重度心身障害児支援の立場から (小塚千津子)
- 3、地域で当たり前前に暮らすために (伊藤多美恵)
- 4、学校に入って見えてきたこと (増田 亨)

II部 「療育で大切なこと」(中山 修)



会員・賛助会員募集

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond
Tel 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981.jimdo.com/ (会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費一口 2000円

映画「普通に生きる」感想

＊もともと、多くの方に観てもらいたい
…みなさんからたくさん感想をいた
だきました。一部をご紹介します。
○感動しました。涙もたくさん。励ま
されました。勇気も！人は誰でもあ
たりまえに生きる権利がある。健常者
も障害者も持っている人も経済的に困難
な人も、環境に恵まれない人も、弱い
立場になった時に支えてくれる制度が
整うことが必要です。それが、政治の
中心におかれることが、ますます要求
し運動し、黙ってはいけません。「お
もてなし」(うらがある)ではなく、「お
もいやる」が、世界中に広がると思い
ます。(社協)

○「利用者から担い手へ」というのは、
もともと声が届きやすいと分かっ
ても、実際に自分におきかえると、二
の足を踏む話だと思います。それを貫
いた保護者の力強さに感服します。多
少下手でも、時間がかかっても、親で
ない人に、身体・生活の面倒をみても
らうことの重要性を再認識しました。
行政に「整ったものを与えられる」の
が当たり前だと思っている面が、今でも
少しあるのですが、それは私の甘えなの
かなと考えさせられました。是非行政・
教育関係・福祉学校の方々などに見て
いただきたいと思いました。(家族)

○日頃、ヘルパーとして、障害の人と
関わっています。制度の中で仕事の事
としてのケア、どこかで線を引かなくて
は、自分に言い聞かせ働き続けていま

す。何か違う方向から関わりたくて、
プールボランティアをしています。そ
の中で、色々な気付きがあり、自分
に何が出来るだろうと足ふみをして
いる。今日映画を観て、可能性を感じ、
勇気ももらいました。(ヘルパー)

○二度目の鑑賞になります。やっぱり、
この映画は、議員の方全員が見る(見
て欲しい)と私も思いました(小中高
校の授業にも)。障害者の子どもの力
はすごいですよ。親を動かして、こ
こまでさせてしまったのですから。で
も、まだ足りないのが現実だと感じ
ています。人材も増やしていかないと。
(レベルアップヘルパー)「普通に
生きる」のために、私たちは何をして
あげようかと考えさせてくれる映画で
した。(ロンドン職員)

○大学に入ってから、福祉に授業で触
れ、興味を持っていったが、さらに深く
知ることができてよかった。制度に対
するアプローチや、社会と触れ合うこ
とが大切だと感じた。私はまだまだ知
識が足りないが、もっと知りたいと思
えた。このような会を開いていただけ
てよかった。ひろめていくことが大切
だとも、改めて感じた。(大学生)

○現在、知的障害部門で教員をしていま
す。子どもたちから学ぶことの多い毎日
です。元々は、普通校教員を目指して
いましたが、この世界を知ることができ
てよかったと思っています。この映画を
観て、肢体不自由部門でも子どもたち
に関わりたくて強く思いました。(特別支援
校教員)

○障害を持つ子どもの親として共感
しました。私も自立は無理だと思っ
ていましたが、弟が生まれることにより、
初めてショートステイを使い、助けら
れながらも、たくさんのお話をさせて
もらいました。自分が死んでも子ども
の居場所があり、困ってほしくない
と思っているの、こういう施設が近く
にあったら、心強いと思った。(家族)

○民生委員活動の中で、今、障害者に
対する活動の少なさを感じていま
す。表に問題が出てこないことも感
じます。たまたま一昨日小学校より、特
別支援学級の昼食ボランティアを頼
られました。地域とのつながりを作
りたいと、普通の学校に入学させられ
た親御さんの気持ちを察する映像で
した。(民生委員)

○みんなの笑顔がよかったです。今は
まだこういう場が少ないと思うので、
もっともつとふえることを願っていま
す。自立生活をした私にとって、考
えさせられるよい時間になったと思
います。(当事者)

○私は、ボランティアを通じて、初めて
知的障がい、重度障害の方々を接すこ
とができました。残念ですが、一般的に、
身内に障害のある方がいないと、今回の
ような映画を見て知ることになります。
ですから、多くの方に、見て関心を持
つきっかけになってほしいと思います。
たとえば、小・中・高校等のこれから社会
の一員になる人々に、私自身も、ご家庭
内での生活は、今回の収穫のひとつで

す。また、何回も、繰り返し見て、今
の仕事に生かしていきたい。

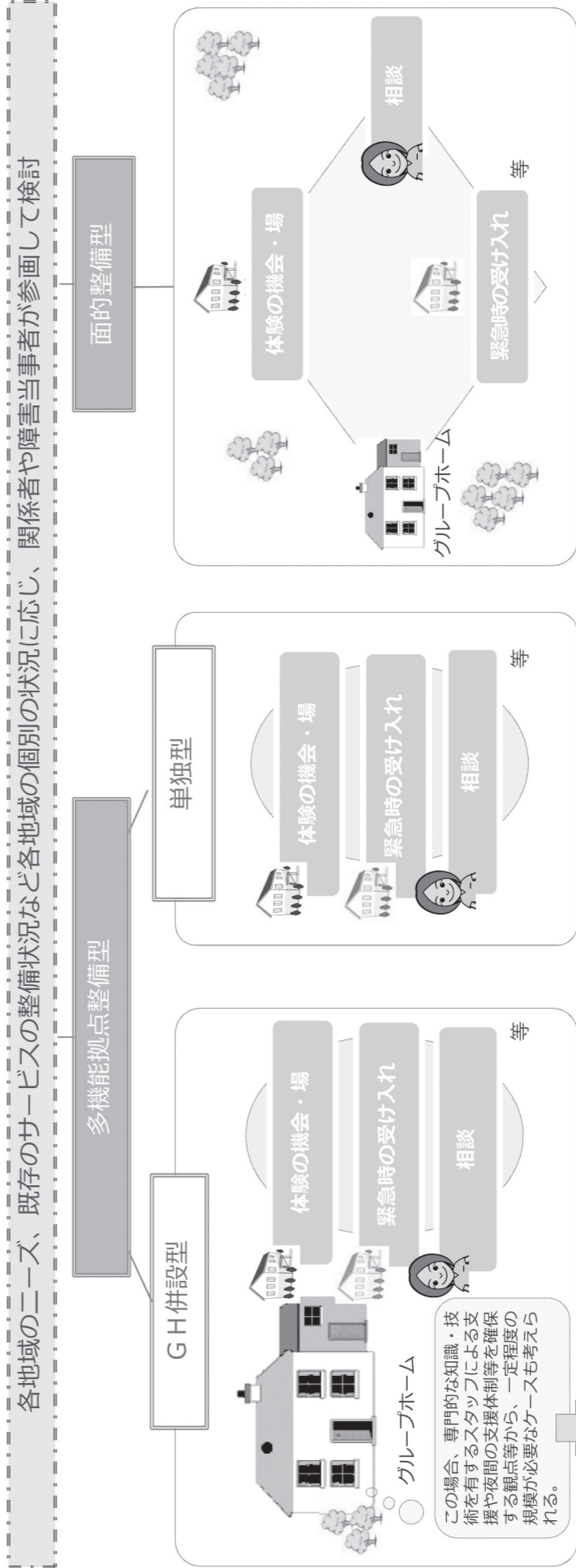
○この映画を観た方の感想を聞いて、
川崎でやると知って、ぜひ見たいと
思ってきました。知的障害のある成人
の方が通う施設で働いていますが、仕
事に追われ大切なことを見失いがち
と感じました。そして、「普通に生きる」
というのは、ご本人のことだけでなく、
親にも言えることだったのだと見て
びっくりしました。ぜひとも、多くの
人に見て欲しいと思います。(施設職員)

○ひとりで表すと、一人で来てしま
って本当にもつたいなかった。もつと
皆さんの人に声をかけて来たかった…
という後悔です。日々、小さな実践に
あけてくれて、つい、お金や労力のか
かることに尻込みして、あきらめて
しまっている自分に気づきます。一人
のひとりの出会いで、これができる
と思うことをもつと大事に実現でき
るように、仲間と力を合わせるこ
とができるように、仲間と力を合わせるこ
とができるように、仲間と力を合わせる
ことが、価値を生む」という言葉に
深く感銘を受けました。私自身の目
が開けたと思います。また、最後の「
普通」の概念は、時代によって変わ
っていく。日々、社会から学ぶ必要
がある」という言葉にも共感しま
した。(NPO職員)

（参考資料8）地域における居住支援のための機能強化

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、各地域の抱える課題に応じて、**居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ、地域の体制づくり）**を地域に整備していく手法としては、①これらの機能を集約して整備する「**多機能拠点整備型**」、②地域において機能を分担して担う「**面的整備型**」等が考えられる。

（参考）居住支援のための機能強化の整備手法のイメージ



1の建物における共同生活住居の設置数に関する特例

都市部など土地の取得が困難な地域等においても、各都道府県の判断で地域の居住支援体制を柔軟に整備できるよう、次のいずれにも該当するものとして都道府県が認められた場合は、1の建物の中に複数の共同生活住居の設置を認めることとする。

- ① 地域で生活している障害者等との常時の連絡体制の確保、緊急一時的な宿泊の場の提供など地域で暮らしている障害者等を支援するための事業や地域の関係機関と連絡調整を行うコーディネート事業を行うこと
- ② ①の機能をグループホームに付加的に集約して整備することが障害福祉計画に地域居住支援の一環として位置づけられていること
- ③ 1つの建物であっても、入り口(玄関)が別になっているなど建物構造上、共同生活住居ごとの独立性が確保されていること
- ④ 1つの建物に設置する共同生活住居の人数が20人以下(短期入所(空床利用型を除く。))を行う場合、当該短期入所の利用定員数を含む。)であること

療ねひろば

■療ねひろば

10月の療ねひろば、台風来襲により残念ながら開催できませんでした。

11月の療ねひろばは、20日の水曜日10時30分より12時30分、ロンド本部和室で開催します。

内容は、10月の療ねひろばで予定していた「入院した時に必要なサポート」をテーマで話しあいます。

お隣の横浜市には「重度障害児入院時コミュニケーション事業」という制度が3年前からできたのに、川崎市には何の制度もありません。

実際に子供が入院して苦労した体験…。これから「もしそうになったらどうしよう!」という不安…。何が必要なサポートなのか?!

相談支援初任者研修了了!

松浦明美

相談支援初任者研修を受けました。私は受ける前は、とても不安でした。学校も養護学校しきや出ていない私が大丈夫かなと思いつながら研修を受けに行きました。まあレポート用紙は沢山有るは勉強の資料は有るはで、講義を受けるのが最初はイヤになってしまいました。先生達の、講義を受けてたら、もちろん、つまらない講義もありましたが、面白い講義も有ったので、悪くはないじゃん、と思いはじめようになりました。それでも長い講義を聞いているとやっぱり嫌だなと思う自分がずっと居ました。がまんして、講義を聞いていると自分が解らなかつた部分も沢山出てきて勉強にはなりました。たとえばヘルプの時間一つ決める

のも次々の段階をふまないと駄目なんだということなど、私は心の中で悲鳴をあげていました。最後の二回はグループに別れて皆で意見を出しあいながら、一人の人のヘルプや思いをくみながら、生活プランを考える授業でした。まわりの人は、そうゆう仕事に、たずさわっている人ばかりだったので、意見が沢山出てきているのに対して私は意見が出せませんでした。やっと後半になって、当事者としての意見を言う事は少しですができました。最後に皆さんに言われました。私達の知らない事を聞かせてもらえて勉強になりました。なので、やはり私達も、いろいろな所に参加をした方が良いと思いました。

横浜市の制度をもとにあれこれ考えてみましょう! 利用する側にとつての更なる意見が反映できたら…と思います。

どなたでも参加いただける場です。これは?こういうときは?とか…?どうなの?と思うことがありましたら、皆で考えていきましょう!!



10月17日「普通に生きる」映画会報告

昼の部	82名
夜の部	43名
計	125名

被災地支援のカンパ金 10803円

決算報告書

支出項目	内容	予算		実績	
		単価(円)	金額(円)	単価(円)	金額(円)
会場費	午前	7,300	31,700	7,300	31,700
	午後	11,400		11,400	
	夜間	16,200		16,200	
会場備品費	音響ワゴン	6,000	14,500	6,000	14,500
	プロジェクター	4,500		4,500	
	スクリーン	3,000		3,000	
	ダイナミックマイク	1,000		1,000	
映画レンタル料	1日 上映基本料	63,000	63,000	63,000	
	加算額(23名)	9,660			72,660
ポスター購入	40枚	100	4,000	100	4,000
チラシ購入	1000枚	5	5,000	5	5,000
委託販売パンフ	60	270	16,200	270	16,200
宣伝材料送料				525	525
運営費	受付関連		15,000	840	1,740
	搬出入駐車料金			900	
合計			149,400		146,325

■ロンドン・ロンドン

*梅木澄江

4月から、ロンドの職員になって相談支援を担当しています。

ロンドは、多機能なので、内容を覚えるのも、たくさんいるヘルパーさんたちの顔を覚えるのも大変です。

いままで、たずさわったことのない重度の障害のある方々と出会って、今まで知らなかった世界をみる事ができて、勉強になっています。がんばって働いているみなさんの足を引っ張らないようにしたいです。

あやふやな「計画相談支援」の中で、利用者の方に相談の形を分かってもらえるように接していきたいと思っています。どうかよろしくお願ひします。



サポートセンター Rond 2号館まつり

12月7日(土) ※雨天決行
10:00~15:00



©Tomoya Osada

このたびサポートセンター Rond 2号館は、開館2周年を迎えました。今年もささやかながらイベントを開催いたします。どうぞお気軽にご来場ください。

【サポートセンター Rond 2号館は、障がいをお持ちの幼児から大人の方までを支援する施設です】

2号館1階

- Live Life House RONDO } アート製品販売⇒アート手ぬぐい、Tシャツ、アート文具などなど
- Live Life House ROCK! }
- 東北大震災被災地からの物品販売
- 豚汁販売
- 綿菓子販売

2号館2階

今年もライブ演奏をします！

- 10:30~11:30 【出演】リバーストーンブルースバンド
- 13:00~14:00 【出演】宝幢ハウジング

同時開催

すぐご近所の「川崎きた作業所・はっぴわーく」さんではミニバザーを開催します。おいしいカレーライスや産直野菜なども販売しています。こちらへもぜひ足をお運びください。(裏面の地図をご覧ください)

《問い合わせ先》

サポートセンター Rond 044-930-0160 (担当:美濃口)

岩手県 山田町支援



山田町商店街

10月19日に、山田町に行ってきました。今回は、11月16日・17日で開かれる多摩フェスティバルで、東北震災復興応援として出店するための物産品の仕入れが目的です。下村さんから紹介された、山田町

で写真店を営んでいる昆さんに、会うために、初めて山田町の中心街に行ってきました。かつては500店舗あった商店の8割が被災を受けたそうです。山寄りに立つ町役場から続いていたであろう商店街は、一面の更地となっていて、ポツリポツリと商店が立っているだけです。それもよく見ると、古いプレハブを利用している仮設店舗ばかりでした。昆さんは、山田町復興のために新生やまだ商店街協同組合を設立し、理事長として、山田町の核となる新しい商店街を建設するために、奮闘中ということでした。商店街には観光バス用の駐車場も設ける予定ですので、地元の方はもちろんのこと観光客も来られるようにと構想をたてられているそうです。昆さんにその中心となる五篤丸水産に連れて行ってもらいました。



商店街協同組合理事長の昆さん

五篤丸水産は、山田でとれた海産物の販売を担うために、山田で育った5人の有志が集まって、復興の決意を込めて建てられた会社です。お店の中は、ウニ、牡蠣、いくら、ホタテなどの海の幸にあふれています。川崎では見たことのないものばかり



五篤丸水産

り。これらの物産をみんなに広めることができたら、少しは山田のみなさんの役に立てるのではないかと思います。多摩フェスティバルに来られる方はもちろんですが、インターネットでも直接購入ができます。本当に美味しいものばかりです。ぜひご協力をお願いします。(谷・撮影/川上)